

令和5年度第4回教育委員会(7月27日開催)
 ①令和5年度安平町育英基金奨学生採用について
 ②安平町立早来学園視察資料提供料金徴収要綱の制定について
 ※第5回教育委員会(8月28日開催)については次号でお知らせします。
 教育委員会はどなたでも傍聴できますので、教育委員会事務局までお気軽にお問い合わせ
 してください。(☎29-7036)

～郷土史つづり～

その82「鶴の湯温泉(早来)」

文責
 郷土史マスター
 川内 つづり



前回その81「安平町文化財 瑞雲寺」の文中で少し触れた『鶴の湯温泉』についてご紹介いたします。鶴の湯温泉は、JR 早来駅の西南方約2キロ、道々千歳鷗川線に面して入口の門があります。温泉の泉質は、冷泉含硫黄ナトリウム炭酸水素塩泉で安平川流域に湧出している冷泉であるため、加熱して浴用としています。浴用適応症はたくさんあります。神経痛、創傷、皮膚病、切り傷、火傷、筋肉痛、疲労回復、冷え性、慢性婦人病、うちみ、関節痛、糖尿病、慢性皮膚病、五十肩、運動麻痺、関節こわばり、痔疾、疲労回復期、水虫です。このような有難い霊泉を、いつ、誰が、どのように発見したのでしょうか。

鶴の湯温泉敷地内に建てられた『鶴の湯温泉発見記念碑』に刻まれている文によりますと、明治4年2月に井上利三郎が発見しました。この記念碑は、利三郎の婿養子井上市三郎(旧姓湯泉)が建てました。井上利三郎は、当時、植苗村美々で旅人宿を営みながら、ダンヅケの仕事もしていました。馬はフモンケの原野に放牧していました。ある日、使用人が放牧馬を見に来た時に、病んだ鶴が沢池に浴しているのを見ました。数日後、傷が治って飛び去ったことを聞いた利三郎は、室を作り浴槽を設けて、人と家畜を浴させてみると疾病は治り、そこが塩分を含んだ硫黄泉であることを知りました。利三郎は、その土地の払い下げを願い出ました。その後、鉄道が敷かれて、明治27年に早来駅が開業し、開拓も進んで入浴に来る人がだんだん多くなっていきました。その当時、早来駅前で雑貨商を営んでいた利三郎の養女エキと夫(婿養子)市三郎は湯の沢へ移り、明治35年に二階建ての豪華な温泉宿を建て、『仙遊館 鶴の湯』を開業しました。以来、湯治客は絶えることなく大いに賑わってきたのです。当時を想像すると、手つかずの森を開拓する人たちや、盛んだった林業で働く人、タンニン工場で働く人、その家族や周辺で暮らす村人にとって、傷を癒したり、疲れた体を回復させたり、憩いの場として、または暮らしの支えとして貴重な温泉であったと思います。

開業から平成19年まで、井上氏、山内氏、横田氏親子三代に渡って守られてきましたが、平成20年に売却し、三友グループの株式会社早来工管が所有者となりました。平成22年に温泉宿泊施設を立て替えて開業しました。引き継がれた美しい蓮池庭園の蓮は、明治時代に北広島市旧島松駅通所の蓮池から持ち込まれたものです。北海道寒冷稲作の父と言われる中山久蔵の試みで、越冬させ育てたものです。奇跡と歴史を感じますね。見頃は8月から9月です。

今年は8月28日(月)から9月13日(水)に浴場配管工事に伴って休業となります。通常営業時間は10時から21時(閉館)、休館日は火曜日、水曜日、宿泊受付は金曜日、土曜日、入浴には、せっけん、シャンプーをご持参くださいね。

安平町図書室 新着図書のご案内

開室日 追分 火～日曜日 9時～17時
 まなびお 月～日曜日 9時～21時
 ☎ まなびお:29-7775、追分:25-2565

新しい本がたくさん入りました！まなびお・追分どちらの図書室の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしています。

まなびお図書室

- 〈一般書〉1分でおしゃれ(MB)／栗山英樹29歳 夢を追いかけて(栗山 英樹)／かっかどるどるど(若竹 千佐子)／ひむろ飛脚(山本 一力)／墨のゆらめき(三浦 しをん)
- 〈児童書〉一年一組先生あのね こどものつぶやきセレクション(鹿島 和夫)／「生きる技術」図鑑 防災・キャンプに役立つサバイバルテクニック(かざま りんべい)／メメントモリ(ヨシタケ シンスケ)／ふわふわ(谷川 俊太郎、工藤 直子)／ひとりかもしれない(岩瀬 成子)

追分公民館

- 〈一般書〉泣きたい日の人生相談(岸見 一郎)／ハレ旅 北海道(朝日新聞出版)／北海道菜園レシピ(範國 有紀)／白ゆき紅ばら(寺地 はるな)／日本エッセイ小史 人はなぜエッセイを書くのか(酒井 順子)
- 〈児童書〉トマト(荒井 真紀)／西の果ての白馬(マイケル・モーパーゴ)／ちいさなトガリネズミ(みやこし あきこ)／ゆびのすうじへんしん(斎藤 陽道)／だれのせい？(ダビデ・カリ)

今月の展示テーマ

『防災』

2018年9月6日の胆振東部地震から5年。9月1日は防災の日、9月は防災月間です。「関東大震災」(1923年9月1日)、「伊勢湾台風」(1959年9月21日)、「二百十日」(立春から210日目。台風の多い日、風が強い日、といわれている)とのことから9月は、防災月間とされたそうです。近年、たくさんの災害が起こっている日本。「備えあれば」、で準備しておきましょう。

◆ 読み聞かせ 9 月 日 程 ◆	日 時	会 場
読み聞かせ ありんこ会	9月9日(土)10時30分～	まなびお図書室(早来学園図書室)
ブックスタート読み聞かせボランティア赤ずきん	9月13日(水)11時～	おいわけ子ども園子育て支援センター